

明治維新150年記念事業

「第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」応援事業

福澤記念館企画展

『学問のすゝめ』のヒミツ

〜郷里中津と小幡篤次郎〜

学問のすゝめ

全

福澤諭吉旧居 福澤記念館

- 入館料 大人400円(300円) 小中学生200円(150円)
※ () 内は団体20名以上の料金
- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 主催 公益財団法人 福澤旧邸保存会
- 共催 中津市、中津市教育委員会
- 後援 慶應義塾
- 協力 慶應義塾福澤研究センター
慶應義塾大学三田メディアセンター

公益財団法人 福澤旧邸保存会 〒871-0088 大分県中津市留守居町586 Tel 0979-25-0063 Fax 0979-23-2938 <http://fukuzawakyukyo.com>

2018年

10月6日(土)

▷ 11月25日(日)



おおいた
大茶会



『学問のすゝめ』のヒミツ

～郷里中津と小幡篤次郎～

明治4(1871)年、福澤諭吉のかねてからの提言がみのり、郷里中津に英学校(中津市学校)が建設されることになりました。そこで学校を開くにあたり、郷里中津の青少年に学問の必要性を説くために福澤諭吉が著したのが『学問のすゝめ』初編です。『学問のすゝめ』は明治5年の初編から明治9年まで全17編が出版されベストセラーとなりました。

本年は、明治元年から150年目の節目を迎えます。明治草創期に出版された『学問のすゝめ』は、今日まで国内外で多くの人たちに読まれています。本展では『学問のすゝめ』の“ヒミツ”をキーワードに、中津市学校にまつわる資料や同著者で福澤諭吉とともに市学校の設立・運営に尽力した小幡篤次郎に関する資料を取り上げることで、本書が生まれた背景や中津との関係性などを紐解きます。

また、資料を通して福澤諭吉の郷里中津への思いを明らかにするとともに、親交のあった旧中津藩士や門下生など中津の人物にもスポットをあてます。



小幡篤次郎肖像写真
(画像提供 慶應義塾福澤研究センター)

学問のすゝめ



『学問のすゝめ』初編 初版本
(大江医家史料館)



福澤諭吉遺品「硯箱」
(慶應義塾福澤研究センター)



福澤諭吉自筆原稿「試験案文」および「口上」
(慶應義塾福澤研究センター)

～関連イベント～

○ギャラリー・トーク

- 日時 ①10月21日(日) 11:00～、14:00～
慶應義塾福澤研究センター 西澤直子教授
②11月11日(日) 11:00～、14:00～
記念館学芸員

会場 福澤記念館2階展示室

※申込み不要、ただし入館料が必要となります。

～アクセス～



福澤諭吉旧居
福澤記念館

〒871-0088 大分県中津市留守居町586
Tel 0979-25-0063 Fax 0979-23-2938
http://fukuzawakyukyo.com